

# 文化“財”の活用を通じた地域デザインを考える

## 開催趣旨

このフォーラムは、地域における文化財をいかに活用し、地域に還元していくか、様々な角度から検討することを目指します。

第1部では、基調講演として、和歌山県立博物館から大河内智之主査学芸員に、和歌山県での文化財の保存活用に対する様々な取り組みを具体的に紹介していただきます。和歌山県は、世界遺産の熊野大社や高野山を有しつつ、一方で過疎化が進むなど、青森県と同じ問題を抱える地域です。また第2部では、青森県や弘前市において、文化財行政に携わる立場や、同じ博物館という立場から、現状や課題をお話していただきます。

地域の皆様と地域の文化財の保存活用についての問題を共有し、今後の地域社会の発展と新しい地域デザインを考える場としたいと思います。ご関心のある方はどなたでも、是非ご来場下さい。

## 講師紹介



和歌山県立博物館

おおこうち とものり

主査学芸員 **大河内 智之氏**

1974年奈良県生まれ。専門は、日本美術史。鎌谷大学文学部史学科卒業、帝塚山大学大学院人文科学研究科修了。博士(文学・奈良大学)。現在、和歌山県立博物館主査学芸員。平成26年度日本博物館協会博物館活動奨励賞を受賞。

主な論文は、「仏像の移動とその実態—彫刻資料から地域史を読み解くために—」(『和歌山県立博物館研究紀要』19, 2013年)など。主な担当展覧会に、特別展「高野山麓 祈りのかたち」(2012年)、特別展「熊野—聖地への旅—」(2014年)などがあります。詳しくは、主催されているウェブサイト「観仏三昧」をご覧ください。

## 会場案内

弘前市民文化交流館ホール【ヒロコ4階】  
弘前市駅前町9-20



## プログラム

### 第1部 18:00~19:10

18:00

開会の辞 弘前大学人文社会科学部 学部長 今井 正浩

18:10~19:10

### 基調講演

#### 文化遺産の継承と信仰環境の維持

—仏像盗難被害対策の事例から—

#### 講師

和歌山県立博物館 主査学芸員 **大河内 智之氏**

#### —講演概要—

和歌山県では平成22~23年にかけて、連続60件に及ぶ寺社の文化財盗難被害が発生しました。集落の過疎化・高齢化が進む中、文化財を守る担い手が減少し、管理が難しくなっているのが要因の一つです。更なる被害が発生している喫緊の状況の中で、和歌山県立博物館では地元高校生・大学生と協力して制作した3Dプリンター製複製を活用した防犯(防災)対策を行っています。地域の歴史そのものである文化財をいかに継承していくか、最先端の取り組みをご紹介します。

19:10~19:20 休憩

### 第2部 19:20~20:00

19:20~19:55

### ディスカッション

#### 文化“財”の活用を通じた地域デザインとは

#### コメンテーター

青森県教育庁 文化財保護課文化財グループ総括主幹	<b>印部 香氏</b>
青森県立郷土館 学芸課主査	<b>小山 隆秀氏</b>
弘前市 文化財課主幹兼文化財保護係長	<b>小石川 透氏</b>
弘前大学人文社会科学部 教授	<b>山田 厳子</b>

#### コーディネーター

弘前大学人文社会科学部 教授	<b>渡辺 麻里子</b>
----------------	---------------

19:55

### 閉会の辞

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター  
センター長 **李 永俊**

20:00 閉会